

神領小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習や活動を実践し「わかった」「できた」「がんばった」という喜びや達成感を味わえる授業づくり
○基礎・基本（聞く・読む・話す・書く）の力を身に付けるための学習活動の工夫

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 教諭 伊月 沙織	委員	校長	村松 由文	教頭	中岡 奈々
		教務主任	寺奥 久滋	人権教育主事	伊月 沙織
		生徒指導主任	喜井 良江		
		特別支援コーディネーター	蔭山 祥子	秦 侑希	

校長

村松 由文



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○漢字・計算など基本的な力は定着している児童が多い。 ○素直で、課題に一生懸命取り組もうとする。 ●基礎・基本の力に個人差がある。 ●習得した知識・技能を活用して問題を解決することに課題がある。	・習得した基礎・基本の力を、様々な学習や生活の場面で、活用することができる。 ・めあてをもって学習に取り組み、自分なりの解決方法を身に付けることができる。	・朝の学習時間等を活用し、基礎・基本の力の定着を図る。 ・読み取り問題を反復的に学習することで慣れ、苦手意識をなくしていく。 ・TT 指導を効果的にを行い、個に応じた指導を継続する。	取組の継続	・基礎・基本の力の定着は8割程度しているが、生活の場面での活用は、個人差が大きい。 ・学校アンケートの「わかる授業を工夫し、学力向上に努めている」という項目に、児童・保護者共に、94％以上の肯定的回答であった。これからも「わかった」「できた」という喜びを味わえる授業づくりに励んでいく。	・朝の学習時間等を1週間で45分確保し、基礎・基本の力の定着を徹底していく。 ・問題解決型学習の授業を展開することで、既習の知識・技能を授業内で活用して考える場面を設定する。 ・個に応じた学習指導の充実を図っていく。

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりすることができる。 ●友達の考えと比べながら聞き、自分の考えを再構築したり、根拠や理由を明確にしながら話したりすることが難しい。	・目的に応じて、根拠や理由に明らかにしながら、自分の考えを進んで伝え合ったり、話し合ったりすることができる。 ・友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを再構築することができる。	・めあてを明確にした授業、問題解決型学習の授業を展開することで、既習の知識・技能を授業内で活用して考える場面を設定する。 ・スマイル班活動の充実を図り、高学年は下学年の立場を考えて行動したり、下学年は、上学年の姿を見て学んだりし、思考力や判断力を養う。	取組の継続	・自分の考えを伝えたり、意欲的に課題に取り組んだりすることができる。 ・自分の考えは明らかにできたが、根拠や理由を説明することは、難しい児童が多い。 ・ハンドサインを活用することで、友達の考えと比べて発表したり、質問をし合ったりすることが増えた。	・話し合い活動の充実を図り、根拠や理由を伝える時間をたくさん設けていく。 ・スマイル班活動を継続して行うことで、引き続き、それぞれの立場で思考力や判断力を養ことができるようにする。

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○学習に取り組む姿勢が前向きで、挙手や発言が多い。 ○何事にも一生懸命取り組むことができる。 ●自分で課題を見つけて取り組んだり、苦手克服に向けて学習に取り組んだりすることは、課題である。	・学ぶ楽しさを感じ、課題や自主学習に積極的に取り組むことができる。 ・自ら考え、友達と話し合い、学び合うことができる。 ・自分の学びを振り返り、自らの課題を把握し、課題解決に取り組んだり、次に生かしたりすることができる。	・教材研究をしっかりと行い、学ぶ楽しさを感じられる授業づくりをする。 ・児童の実態を把握し、めあてや課題の設定を工夫する。 ・振り返りを行うことで、課題に気付くことができるようにする。	取組の継続	・学びに向かう姿勢は意欲的で、一生懸命取り組むことができている。 ・自分で課題を見つけて取り組んだり、苦手克服に向けて学習に取り組んだりすることは、今後も課題である。	・児童の実態や課題を把握し、一人一人の課題に向けての解決方法や取り組み方を支援したりアドバイスしたりできるようにする。 ・「できた」「わかった」「楽しい」を感じられる学習活動をたくさん行い、成功体験を積み重ねていく。

令和6年度 学力向上ロードマップ



